

■「東京オリンピック」を悪用した手口に注意！

劇場型の手口は、それぞれの時期・話題にあわせて、巧みに内容を変えてきています。最近では、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定に伴い、これらを題材にした手口が見られます。



■犯人の手口

ある日、A社という会社から立派なパンフレットが送付されてきた。中には、東京オリンピックの開催予定地近隣の用地買収などを行っていることや、1口10万円の社債募集を行っていることが記載されていた。

数日後、B社の社員を名乗る人物から電話がかかってきた…

B社：「オリンピックの開催が決まって土地の値段が上がるから、もしA社のパンフレットを持っていたらA社の社債を代わりに購入してほしい」

あなた：（A社のパンフレットってすごく立派だったから大丈夫よね！と依頼を承諾する）

数日後…警察官を名乗る人から連絡が入る

偽警察官：「B社の社員を逮捕した。A社の社債を申し込んだあなたにも責任があるから財産を差し押さえる。詳しくは今から弁護士と話をするように」

偽弁護士：「差し押さえを回避するためには指定した金額を支払うことになる。ATMで振り込んでください」

他にも…

オリンピックの競技施設を建設するための債券、オリンピック用地を購入するための債券、オリンピックの競技施設の建設を請け負う会社の社債などを題材に、架空のもうけ話を持ち込みます。

中には、「東京オリンピックの入場券をプレゼントする」といった話をちらつかせて近づいてくる場合もあります。

■対処法

少しでも不安を感じたら、相手にせずすぐに電話を切ってください。

「東京オリンピック」を悪用した手口はこれからも増えることが予想されます。十分に注意してください。

■こんな手口にもご注意ください！

犯人はあの手この手を使ってあなたの大切な財産を狙ってきます。従来の手口から、今どきの話題を盛り込んだ手口まで様々な内容があります。警戒心を忘れずに、少しでも怪しいと思ったら、迷わず相談するようにしてください。

■オレオレ詐欺

息子や孫を装って「会社のお金を使い込んだ」「女性を妊娠させた」「サラ金に借金をしてしまった」「交通事故を起こしてしまった」などと言ってお金をだまし取る手口。

「あなたの口座が悪用されている。新しいキャッシュカードを作るのでカードを預かります。暗証番号も変えるので番号を教えてください」と言われることも。